



VOL. 73
09年 05月

今月の
特集



糖尿病の学会に参加して

「糖尿病学の進歩」2009

「第43回糖尿病学の進歩」が2月20日から21日の2日間、長野県松本市で開催されました。「糖尿病学の進歩」は糖尿病学の進歩・発展を図り、糖尿病の治療・研究の向上を目指した活動を続けている『社団法人日本糖尿病学会』が主催する学術集会で、全国から医師や看護師・薬剤師・管理栄養士ら、主に糖尿病専門医や糖尿病療養指導士ら約3千人が参加し、当院からも、院長始め看護師4名の計5名が参加しました。今回はその学会の様子を糖尿病療養指導士の細谷がまとめてみました。

「糖尿病学の進歩」の様子

看護師4名で朝早く電車を乗り継ぎ（かなりの珍道中でしたが）昼過ぎに無事松本に到着し観光もせず会場へ。当院に通院されている患者様達のためにと心に念じ、かなりの眠気と戦いながら、糖尿病の概念・治療・予防・心理の全体についてそれぞれの権威の先生方からのレクチャーを聴講しました。他の会場ではイブニングコンサートや一般向け市民公開講座も行われたようです。（おみやげ屋さんや蕎麦の試食もありましたが、長蛇の列でした）2日目も朝早くから会場へ。勉強に来たのですが正直、「最低松本城だけは観光して帰りたいかった〜」そんな事ばかり考えている真面目な私。最後の頃は、せっかくの講義も上の空でした。



学会に参加して思ったこと

こうして有意義な2日間を過ごして感じたことは、「近年糖尿病の治療の進歩は目覚ましく、適切な治療を受けていれば普通に社会生活を送ることができる」、どんな病気もそうですが「早期発見・早期治療が有効。病気にならないための予防に努め、定期的に健康診断を受けるべきである」ということにまとめられるように思いました。また患者さん自身が自分の病気のこと、糖尿病の事についてもっと興味を持ち、自己管理について学び知る事が大切なんだということを改めて認識しました。

そのためには、私たち医療従事者が患者さんたちに働きかけ、一緒に学び考えて行くことが大事であると痛感しました。

観光もせず疲労困憊で帰宅の途につきましたが、自分自身大変勉強になりました。信州そばはおいしかったし、普段見られないスタッフの別の顔が見られたことも収穫のひとつだったと感じています。

院内行事に関するニュース

「連覇」に向けてウォークラリー参加者募集

6月7日（日）に毎年恒例となった茨城県糖尿病ウォークラリーが開催されます。午前中は9時半から糖尿病に関する知識や運動の実際に関する講義が、東京医大茨城医療センター（霞ヶ浦病院が2009.4月に改名）の医療福祉センターで行なわれます。午後12時からウォークラリーが霞ヶ浦運動公園で開催されます。

当院からも毎年患者さんとスタッフが大勢参加していますが、去年は当院のチームがなんと「優勝」の栄誉に輝きました。今年も連覇を目指してがんばりましょう。

春のさわやかな風のなかを一緒に歩きませんか？

皆さんの熱き参加をお待ちしています。

休診のお知らせ

ご迷惑をおかけしますが
5/1(金) ~ 5/7(木)は
都合により休診
とさせていただきます
ご了承ください

5月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

花見も終わり、街の緑がきれいです。私は5月の休みに奥只見に釣りに行きました。まだ雪が沢山ありましたが、幸運にもサクラマス釣り上げることが出来ました。宝石のようにきれいな魚でした。